

現場・市民 目線で市政チェック。 「いいね！」あふれる大和に。

討議資料

発行元：小田博士後援会

平成27年秋 vol.003-2

後援会にご加入ください

おだひろし 大和市議会議員 元産経新聞記者

小田博士の 市政かわら版



9月議会で一般質問 「特区活用で企業誘致を」 ロボフェスタ 年内にも初開催



9月15日の大和市議会本会議で一般質問を行い、選挙戦で第一の政策目標として掲げた「産業空洞化の脱却」などを取り上げました。市内の企業が減り、法人市民税も減少傾向にある現状を踏まえ、市の自主財源を増やすためには、IBM大和研究所や鹿島建設の跡地などで「さがみロボット産業特区」を活かした企業誘致が不可欠だと提言しました。

大木哲市長は「本市の特性を活かした中小企業誘致や創業支援など新たな産業振興策について、さらに調査研究を進めたい」と述べ、従来の「情報収集」より、若干前向きな答弁をしました。

市民活動課長は「最新型ロボットの展示をはじめ、ロボット操作などが体験できる『大和ロボットフェスタ2015』の本年12月開催を目指し、準備を進めている」と述べ、本市初のロボットイベントを行う計画を明らかにしました。「ロボ特区」を活かした企業誘致活動が少しずつ前進しています。その他の項目の主な答弁要旨は以下の通りです。

【女子中学生の自殺】（教育長答弁）

○自殺をほのめかす文書があることは承知しているが、内容は把握していない。学校と教育委員会で合同チームを立ち上げて協議を重ねた。生徒の学校生活は成績優秀、生活態度や友人関係も良好で問題は見当たらなかった。学校以外に原因がある可能性も考え、遺族の心境に配慮しながら慎重に対応を進めた。現時点でいじめの可能性はないと思われることから、検証組織の設置は考えていない。

【大和偉人伝（仮称）の作成】（教育部長答弁）

○地域に著名な人物や知名度の高い方が関わりをもっていることは、私たちにとって誇りであり勇気をもらえる。（「大和偉人伝」は）現時点で作成計画はないが、子供たちに夢や希望を与える機会として、本市に関わりのある人物の情報収集と学校への発信に努める。

【情報公開の拡充】（総務部長、政策部長答弁）

○情報公開については、大和市情報公開条例および大和市市民参加推進条例に基づき、適切な運用を行っている。今後も個人のプライバシーに配慮しながら、その推進に努める。

○審議会での提供資料は、政策形成の過程にある情報なので、会議終了後に資料を返却していただいている。この考え方は市民参加推進条例の施行当初から変わっていないので、ご理解をお願いします。

【大和スタジアムを活用したプロ野球の拡大】（文化スポーツ部長答弁）

○イースタンリーグ（2軍戦）開催は、今後も定期的な開催に向け、球団や関係機関と調整を進める。

○大和スタジアムは、プロ野球の試合を増やすためにはスコアボードやナイター設備の改修が必要だ。今後、調査研究する。

女子中学生自殺 再発防止へ背景解明を

始業式の前後に自殺する児童・生徒が多い傾向が社会問題となるなか、市立中学2年の女子生徒が8月25日、つきみ野駅で飛び降り自殺するという大変痛ましい出来事がありました。始業式の前日でした。夏休みを終えて、学校に行きたくない事情があったのではないかと推測するのが自然です。自殺の動機や背景は判明していませんが、それを把握することなくして再発防止はあり得ません。文部科学省の通知や手引書でも、背景調査を行うよう促しています。

同じ日に男子中学生が自殺した群馬県沼田市では、当日に保護者会や記者会見を開催し、全校生徒を対象にした緊急アンケートも実施しました。ただ、大和市で同様の丁寧な対応はなく、女子生徒が通った中学の保護者からは「『詮索や口外をするな』と言われていた」との話も伺いました。教育現場は信頼性が損なわれないよう、目の前の悲しい出来事に真摯に向き合う努力が求められています。

9月議会では、教育長を3年間続投させる人事案も採決し、賛成多数で同意しました。ですが、私はこの問題の大きさを踏まえ、賛成も反対もしない「退席」としました。

国会で安保法制成立 切れ目ない態勢確立

国会で9月19日、平和安全法制が成立しました。私は前職の産経新聞記者時代、防衛省も担当し、この問題について昨年7月の閣議決定までは報じてきたので、私の考えを記します。一部の野党やマスコミは「憲法違反だ」「徴兵制が進む」などと批判しますが、まったく批判はあたりません。

集団的自衛権の行使容認は、過去の最高裁判決に基づいた憲法解釈の変更です。「専守防衛」の方針は変わっていませんし、国会での事前承認を原則とするなど歯止め規定も設けられています。

また、政府は徴兵制を採用しない方針を繰り返し答弁しています。現在は、無人機をはじめ防衛装備の近代化が進んでいます。素人が参加する徴兵制は軍事面でも現実的でなく、国際的にも減っています。

地元紙の報道 私のブログを契機に…

発表「20万人」根拠は？



9月1日の市議会文教市民経済委員会では、決算関係資料に記された昨年5月の大和市民まつりの来場者数（「21万人」）が、正確な計測に基づかない腰だめの数字であることが明らかになりました。私は、「眉唾もの参加者数 市の資料にも…」と題した2日付のブログで、市の対応を疑問視しました。

このブログをとっかかりに、地元紙・神奈川新聞が翌3日付朝刊で「発表『20万人』根拠は？ 議会問題視 市、感覚的に推計」と報じました。記事では「市議会の一部から疑問が出ている」と指摘。「市議からは『腰だめの数字はよくない。推計の数字なら、推計と示すべき』と感想が上がっており…」と記し、私のブログ上の論評を匿名形式で引用しました。

今後とも市政を丹念にフォローし、丁寧な発信にも努めます。

◆プロフィール

昭和50年1月5日生まれ
大和市出身／上和田在住

昭和56年 高座みどり幼稚園卒園
62年 西鶴間小学校卒業
平成2年 南林間中学校卒業
5年 中央大学附属高校卒業
10年 上智大学経済学部卒業
26年 産経新聞社を自ら退社
27年 大和市議に初当選

◆市議会等での役職

環境建設常任委員、議会運営委員、基地対策特別委員、議会報編集委員、交通安全対策協議会委員、社会福祉協議会評議員

◆その他の活動

大和青年会議所、大和中央シティライオンズクラブ、大和市倫理法人会など

◆産経新聞記者（16年間）当時の職歴

東京本社・整理部→千葉総局（県警や県政）→社会部（文部科学省や司法）→政治部（首相官邸や自民党、公明党、民主党、防衛省など）

12月議会

大和市議会第4回定例会（12月議会）は11月24日（火）から25日間の日程で開かれる予定です。一般質問は12月11、14、15日の3日間です。